3. 北条池改修

（位置と経緯）

調査対象地は綾歌郡綾南町萱原で、北条池の北西部にある萱原橋の東側の汀線際の斜面地である。

農林水産省中国四国農政局香川農地防災事業所により北条池の改修事業が計画されたため、県教育委員会は平成11年度から、その工事部分・工事内容・工期などを聴取した。その後、工事部分を中心に分布調査を実施して、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った。平成11年度は北条池内の土取り部分について試掘調査をおこない、埋蔵文化財を確認した部分（北条池北西底遺跡）については現状保存ということで合意した。平成12年度は昨年度の分布調査時に確認した北条池瓦窯跡の灰原想定部分に隣接して鋼矢板を打設して工事を行う部分があるので、これまで不明であった北条池瓦窯跡の正確な位置を確認し、工事に伴う影響の有無の判断と保護措置のための協議の資料を得るために試掘調査を実施した。試掘調査は平成12年８月30日・31日に実施した。

第44図　調査位置図（「白峰山」）

（調査結果及びまとめ）

試掘調査の結果、窯跡は調査区のほぼ中央部で検出されたが、窯体の半分はすでに地面の崩落や削平により損失していた。床面と窯壁の一部が残存していたが、その残存状況から判断して半地下式ロストル式平窯と考えられ、燃焼室と焼成室の境部分は段になっている。窯跡の先端部は標高39.0m、検出できた燃焼室の焚き口側は標高37.9mであった。また窯壁の剝がれた部分では地山面が赤変していた。燃焼室の焚き口付近は北条池の水位が高く水没しており、調査は出来なかった。検出した部分で全長1.7m、燃焼室は長さ0.75m・幅0.5m、焼成室は長さ0.95m・幅0.35mである。窯体内部の調査は行わなかったため出土遺物は見られなかった。また窯跡に付随する排水溝などの施設は検出されなかった。

窯跡前面の部分で過去に複弁８葉軒丸瓦が採集されている。この瓦は京都の鳥羽離宮南殿跡で出土した瓦と同文で、11世紀末ごろのものである。讃岐で生産された瓦が京都まで運ばれていたことがわかる。他に平瓦・丸瓦などが採集されている。この北条池瓦窯跡は瓦を焼いていた窯であるが、焼成後に製品を掻き出し遺物が堆積する灰原が、窯跡の焚き口の前面部分に想定できるが、この部分は現在水没しており範囲は不明である。

以上の結果と工事内容・範囲を照らし合わせてみると、工事区域端に鋼矢板を打設する部分と窯跡本体の位置とは９m離れており、鋼矢板打設による振動および控えの単管パイプの影響はないと考えられる。従って事業実施に伴う北条池瓦窯跡の保護措置は不要である。しかし、遺物を多量に含むと考えられる灰原部分については、その範囲確定を含めて引き続き協議を行う必要がある。

番号	規模(m)	遺　構	遺　物	特　記　事　項
1	10×1	瓦窯		表土直下に灰色粘土・焼土・窯壁を含んだ包含層、その下で淡黄灰色粘土の地山層に至る。窯跡はこの地山層を掘り込んで作られている。

第19表　トレンチの概要

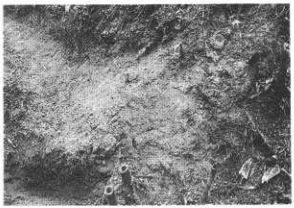
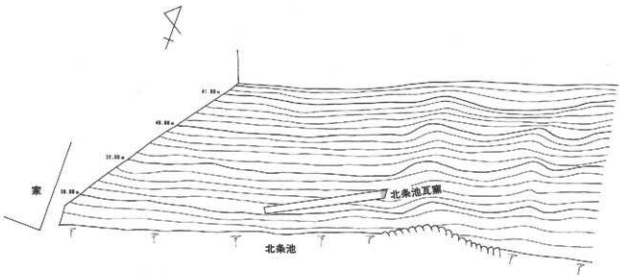


写真72　窯跡検出状況

写真73　窯跡断面



第45図　トレンチ配置図（S＝1／100）

4. 西讃南部広域農道整備

（位置と経緯）

調査対象地は三豊郡大野原町丸井で、三豊平野東端部にある大池に面した雨之宮神社の後方の丘陵上である。丘陵は北側と南側にそれぞれピークを持つ甕篌形で、今回の対象地は南側のピーク部分である。

本路線は財田町を起点に山本町・観音寺市・大野原町を通り豊浜町に至るもので、県の南西部の主に山裾を通過する計画である。計画路線内には周知の埋蔵文化財包蔵地が4箇所ほど所在していたのと、路線が総延長15kmと広大なこともあり、事業課の香川県土地改良課・香川県三豊土地改良事務所と埋蔵文化財の取り扱いについて協議した。その結果、周知の埋蔵文化財包蔵地内については事前に試掘調査を実施すること、それ以外については分布調査を行い必要な箇所については同様に試掘調査を実施し、それぞれ試掘調査の結果をみて再協議を行うことで合意した。今回の大野原町の雨之宮神社古墳については、その正確な位置が不明であったことと、雨之宮神社古墳が所在する丘陵の路線予定地内を分布調査した結果、古墳状の隆起が認められたことで、試掘調査を実施することとした。試掘調査の結果によっては計画路線の変更も考えるので用地買収前に試掘調査を実施してほしいとの意向を三豊土地改良事務所から受けたので、発掘承諾などの諸条件を整備した後の平成12年9月18日～20日に試掘調査を実施した。

第46図　調査位置図（「観音寺」）

（調査結果及びまとめ）

トレンチ調査の結果、墳頂の平坦部のほぼ中央に南北4.9m、東西2.6mの墓壙を検出した。墓壙は黄褐色粘土に灰色粘土を帯状に混ぜて版築して盛り上げた墳丘の盛り土から掘り込まれている。墓壙は内部を一部調査したにすぎないが、東西部分は段を作って掘り込んでいる。北側の段部分には長方形の板石が据えられており、また1トレンチでは拳大～人頭大の礫群が確認された。いずれも埋葬施設に伴うものと考えられ、このことから調査地の隆起は古墳であると判明した。

古墳は推定の墳端部で南北13.5m、東西13.0mの円墳と考えられる。また墳頂の平坦部は南北6.8m、東西6.0mである。墳頂部には埋葬施設構築のための墓壙が確認されたが、墳丘の側面部には確認されなかったので、竪穴系の埋葬施設と考えられる。またトレンチ内では葺石や埴輪などは検出されなかった。遺物は1トレンチで墓壙埋土の最上層で須恵器の甕の体部の破片が1点出土したにとどまる。

調査地の周辺の丘陵上には平岡古墳群、縁塚古墳群、藤目山古墳群などの古墳時代後期の古墳群がある。今回の古墳は群を構成せず丘陵上に単独で所在することや、竪穴系の埋葬施設をもつ可能性が高いことから、古墳時代後期より遡る所産のものの可能性がある。

以上のことから、今回の調査地を含む第47図の範囲は、「雨之宮神社南古墳（あめのみやじんじゃみなみこふん）」として、事業の実施に先立つ文化財保護法に基づく保護措置が必要である。

番号	規模(m)	遺構	遺物	特記事項
1	10×2	墓壙	須恵器1	トレンチ中央やや西寄りで、耕土直下で幅2.6mの褐色砂質土埋土の墓壙を検出した。墓壙は深さ35cm部分で段となり、さらに22cm下った部分で拳～人頭大の礫群を検出した。埋葬施設に伴うものと考えられる。トレンチの東西部分は黄褐色粘土で、墳丘の盛土である。盛土は灰色粘土層を帯状に混ぜて版築している。東西の斜面部は耕土直下で明褐色砂質土があり、その下部で盛土の黄褐色粘土層に至る。
2	10×2	墓壙		トレンチ中央やや北寄りで、耕土直下で幅4.9mの褐色砂質土埋土の墓壙を検出した。墓壙は北側部分で深さ40cmのところで段になり、この部分に幅30cm、検出高30cmの長方形の板石を配置している。埋葬施設に伴うものと考えられる。墓壙の埋土は褐色の砂質土と細砂である。トレンチの南北部分は黄褐色粘土で、墳丘の盛土である。盛土は灰色粘土層を帯状に混ぜて版築している。南北の斜面部は耕土直下で明褐色砂質土があり、その下部で盛土の黄褐色粘土層に至る。

第20表　各トレンチの概要

写真74　調査前

写真75　1・2トレンチ墓壙検出状況

写真76　1トレンチ東端部

写真77　1トレンチ墓壙断面

第47図　トレンチ配置図（S＝1／2,000）

写真78　1トレンチ石材検出状況

写真79　2トレンチ北側墓壙掘込・石材検出状況

ふりがな	まいぞうぶんかざいしくつちょうさほうこくXIV
書名	埋蔵文化財試掘調査報告XIV
副書名	香川県内遺跡発掘調査
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	西岡達哉・森　格也・宮崎哲治
編集機関	香川県教育委員会
所在地	〒760-0013　香川県高松市番町２－１－１ NTTビル　℡：087—831—1111
発行年月日	西暦2001年３月31日

所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″			
川津下横東遺跡	坂出市川津町	37203	00287	34°17′29″	133°51′10″	10月10日	30	国道438号線
本村中遺跡	三豊郡詫間町	37426	0039	34°17′40″	133°20′04″	９月28日	40	県道紫雲出山線
上林遺跡	高松市上林町	37201	00828	34°17′25″	133°04′36″	10月２～５日 1月10日	50	県道中徳三谷高松線
北野遺跡	高松市上林町	37201	00853	34°17′24″	133°04′36″		170	
鎌野西遺跡	高松市上林町	37201	00854	34°17′23″	133°04′36″		60	
中原遺跡	高松市三谷町	37201	00855	34°17′23″	133°04′36″		60	
中原遺跡	丸亀市今津町・津森町	37202	00116	34°16′21″	133°47′27″	10月12日	85	県道多度津丸亀線
高松城跡(丸の内)	高松市丸の内	37201	00852	34°20′47″	133°03′22″	５月25日	14	高松家庭裁判所移転
原間遺跡	大川郡大内町	37303	00052	34°14′01″	133°20′05″	９月26・27日	130	古川河川改修
大州浜遺跡	坂出市与島町	37203	00042	34°23′08″	133°49′36″	10月16日	30	与島駐在所新築
向原遺跡	綾歌郡綾南町	37382	00249	34°13′50″	133°56′55″	７月13・14日	30	県営ほ場整備 (綾南南部地区)
深地窯跡(灰原)	綾歌郡綾南町	37382	00053	34°13′40″	133°57′24″		100	
重清１号塚	綾歌郡綾南町	37382	00253	34°14′39″	133°57′40″		175	
北代遺跡	綾歌郡綾上町	37381	00080	34°13′14″	133°57′31″	12月４・５日	100	県営ほ場整備 (綾上山田地区)
内又遺跡	綾歌郡綾上町	37381	00079	34°13′20″	133°57′49″			
北条池瓦窯跡	綾歌郡綾南町	37382	00050	34°15′15″	133°56′10″	８月30・31日	10	農地防災事業 (北条池改修)
雨之宮神社南古墳	三豊郡大野原町	37424	00042	34°05′00″	133°41′59″	９月18～20日	76	県営広域農道整備 (西讃南部地区)

埋蔵文化財試掘調査報告XIV
香川県内遺跡発掘調査
平成13年3月
編集・発行　香川県教育委員会
高松市番町2－1－1　NTT番町ビル
電話　(087) 831－1111（代表）
印刷　セキ株式会社